

平成 22 年度第 2 回石狩市地域包括支援センター運営協議会

開催日：平成 23 年 2 月 23 日（水）

時 間：17：30～18：30

場 所：石狩市総合保健福祉センター

りんくる 3F 301・302 会議室

傍聴者数：0 人

【出席者】

委 員：橋本会長、橋本副会長、当瀬委員、奥山委員、竹口委員、松原委員、山田委員、
宮田委員、藪中委員 山内委員欠席

事務局：鎌田部長、久保田センター長、田森課長、中野主査、白川主査、内藤主査、酒
井主査、長谷川主査、飯岡社会福祉士、木村課長、辻主査、工藤介護福祉士、
池垣主査、下川センター長、江畠主任、瀧坪主事

議事録

委員の紹介について

委員 竹口 尊（越智委員の後任）

地域包括支援センターの運営について

介護予防支援について

事務局から資料 1（1P から 5P）「要支援者等の人数と予防支援計画についての状況の推移」及び「サービス事業者利用実績（平成 22 年 4 月～平成 22 年 11 月分）」について説明。

【承認事項】資料 1（1P から 5P）の各種報告について、協議会で承認を得た。

【質問・意見】なし

各センターへの相談状況等について

平成 22 年度の事業報告（中間報告）について

事務局から資料 1（6P から 18P）「各センターへの相談状況等」及び「平成 22 年度の事業実績報告」について説明。

【承認事項】資料 1（6P から 18P）の各種報告について、協議会で承認を得た。

【質問・意見】

- ・橋本委員 認知症サポーターの件ですが、石狩市の職員以外の方で研修された方がいるかどうかということ、サポーターになった方は具体的にどのような活動をしているかということ、この養成講座をするためにいくらぐらいかかったかを

教えて下さい。

(事務局) 市の職員以外では、市内小中学校や、ボランティア団体、高齢者クラブ、婦人部、民生委員、郵便局長会の方にやった後、その妻の会の方にもやりました。また、石狩市職員向けに開催した際に、浜益の消防の職員の方からも要望があり参加頂き、そこから石狩の消防職員の方にも実施したりしました。口コミで来る場合と、キャラバンメイトさんが自分で地域の方に周知してやる場合があります。

サポーターになった方は、具体的には、認知症の理解者となり、地域にそういう方を見かけたらお声掛け(あいさつなど)や、家族等の見守りをしてあげたり、相談場所の紹介をしてあげたりとか、何かをしなきゃいけないというよりは、地域の中で高齢者のちょっとした異変に気づいたら、地域包括支援センターや民生委員さんに相談して下さいということを周知しています。経費については、キャラバンメイトさんはボランティアで活動して頂いており、事務局でかかる経費としては、オレンジリングの送料と資料の印刷代や紙代くらいです。金額は、すべて合わせても1万円かからないくらいです。

・橋本委員 厚田さんにお伺いします。いつも「脳健康教室」を実施されて、認知症のどんな試験を具体的にされていて、改善の基準にされているのか。長谷川式とかそういうものではないですね？

(事務局) MMSE という検査をやっております。簡単に今日が何月何日何曜日ということから、あとは100から7ずつ引いていってというようなこととか、結婚の日を聞くとか短期記憶を聞くというのがあるんですけど、私たちも実施するときは勉強をやって、偏らないように、やる側の主観に頼らないでというマニュアルで効果判定をさせていただいています。ただそれが良い方法なのかというのがちょっと疑問で、もっとほかに評価できるようなことがあればとは考えておりますが、今はMMSEという認知機能検査というもので評価させていただいております。また、8割弱くらいの方が改善というふうに言ったんですけど、個別的にみると、例えばこの点数が、やる前とやった後で個別的に数値が出ているんですけど、感じとしては、この点数が21点以下は認知症という基準があるんですけど、13名の内実は1名が21点以下という方がいたんですけど、やはりその方は全然改善されなかったもので、正常の値か軽度認知症の疑いという辺りの方には効果がある事業だと感じています。

・当瀬委員 質問が2つありまして、まずは虐待に関してですが、相談件数は減っているということでしたが、虐待の緊急対応の時に何か現場で困っていることはないのかということと、浜益の介護予防事業の中で、交通が不便であるというようなこととか、高齢者クラブの活動がない地区が増えているということが問題点として挙がっていたんですけど、これに対しての今後の対策として考えられ

ていることがあるかをお聞きかせ下さい。

(事務局) 虐待の場合は、いつも課題に上がるのは、虐待者(加害者側)の方が全て私たち(包括)の介入を受け入れる訳ではないので、介入が困難な場合、関係者で、どういう方法で、誰がどういう役割で介入するかを相談するんですけど、なるべく早くというのは思っているのですが、介入が困難な場合は、すごく大変です。また最近課題として感じるのは経済虐待の部分です。親の年金を搾取していたり、それが原因でご本人の生活が危ぶまれたり、命に関わるような場合は早めに介入するようにはしていますが、経済虐待は、家族関係とかいろいろな事例があるので、そういった場合はすごく困難に感じます。また、注意を払うのが、近所の方からの通報があった場合は、通報者がわからないように介入するようにしているが、どういう方法が自然かとか、ケースによっては自然にというのが難しい場合もあって、時には専門職(保健師、社会福祉士)だけではなく、事務職の方が一緒に入ってもらったりもしています。

(浜益) 高齢者クラブがなくなる一番の原因は、会長さんがいなくなるということで、そのことについては、会長さん一人に仕事が集まらないように一緒にやりましょうという感じで、なるべく高齢者クラブを続けてもらうことと、あとは、高齢者クラブじゃない働きかけというか、高齢者クラブに入りたくても年が若くて、でも何かやりたいと思っている女性などを回覧等で集めて教室を開催していこうと考えています。また、移動手段については、浜益地区のケアマネの集まりの中でも問題となっていて、受診の際の移動手段などを簡単な聞き取り調査でまとめて地区全体の問題として提起していきたいと考えています。

その他

事務局から次回運営委員会開催について説明(6月~7月に実施)。

【承認事項】次回の開催予定時期について、協議会で承認を得た。

【質問・意見】なし

平成23年4月22日 議事録確定

会長署名 橋本伸也